

2021年6月17日

各 位

不動産投資信託証券発行者名

日本都市ファンド投資法人（コード番号 8953）

代表者名 執行役員 難波 修一

URL：https://www.jmf-reit.com/

資産運用会社名

三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社

代表者名 代表取締役社長 岡本 勝治

問合せ先 執行役員 都市事業本部長 荒木 慶太

TEL：03-5293-7081

2050年カーボンニュートラルに向けた新たなCO₂排出量削減目標の設定に関するお知らせ

日本都市ファンド投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、資産の運用を委託する資産運用会社である三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社（以下「本資産運用会社」といいます。）とともに設定するESGマテリアリティにおいて、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた新たなCO₂排出量削減目標を設定したことを、下記の通りお知らせします。

記

1. これまでの気候変動に関する取組み

本投資法人は、本資産運用会社が掲げるサステナビリティ・ビジョン「投資運用を通じて投資主価値の向上を目指し、世界的課題の解決に貢献する」に基づき、持続可能な社会の実現を目指し、ESG（環境・社会・ガバナンス）への取組みを積極的に行ってきました。

特に、気候変動への対応は重要な社会課題であると考え、本資産運用会社は、モントリオール・カーボン・プレッジ、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）へ署名、気候変動イニシアティブへ賛同するとともに、本投資法人はこれまでの本資産運用会社のESGの取組みに賛同し、保有物件に対する環境・省エネルギー対策やエネルギー利用の効率化を積極的に取り組んできました。

2. 新たなCO₂排出量削減目標設定の背景

本投資法人は、2021年3月1日付でMCUBS MidCity投資法人と合併し、「日本の都市生活（住む、働く、消費する）を不動産面から支えていく」をビジョンとして掲げ、都市生活の基盤となる不動産への投資を拡大しています。

今般、本投資法人が保有する資産において環境配慮、CO₂排出量の削減等を通じて気候変動に主体的に取り組むことは、世界的な気候変動対策に貢献すると同時に、都市生活の安定化、ひいてはサステナブルで安定的な収益の獲得に繋がり、投資主価値の向上に資するものと認識し、新たなCO₂排出量削減目標を設定しました。

3. 新たなCO₂排出量削減目標及びその施策

① 新たなCO₂排出量削減目標

- ・ 2030年までにCO₂排出量を2015年対比で50%削減（原単位ベース^(注)）
- ・ 2050年までにカーボンニュートラルを目指す

【これまでの目標（ご参考）】

- ・ 2030年までにCO₂排出量を2015年対比で23%削減（原単位ベース）

(注) 原単位とは、延床面積（稼働状況考慮後）を以て算出しています。

② 新たなCO₂排出量削減目標に向けた主な施策

- ・ テナント専有部及び共用部における更なるLED照明の導入や省エネ型空調設備の導入等の実施
- ・ 再生可能エネルギー由来の電力調達への切換え

■この取組みを通しSDGs目標の達成に貢献します。



■サステナビリティに関する取組みの詳細についてはホームページでご確認ください。

日本都市ファンド投資法人

https://jmf-reit_sustainability.disclosure.site/ja/

三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社

https://mc-ubs_sustainability.disclosure.site/ja/

以 上